



新年のご挨拶

社会医療法人 鴻仁会 岡山中央病院 院長 金重 総一郎

謹んで新年のお慶び申し上げます。

旧年中は、岡山中央病院をはじめ社会医療法人 鴻仁会に対し、ご厚情を賜り深く御礼申し上げます。

さて、本年は当法人の新たな出発の年となります。今まで以上に良質な医療を患者さんに提供するために、岡山中央病院と奉還町病院を統合することといたしました。新病棟の機能としてはリハビリテーション、産科、透析を予定しております。

まずはリハビリテーションですが、新棟では70床のリハビリ専門病棟と、外来リハビリも行うことのできるリハビリ専用フロアを設けました。急性期病棟からリハビリ病棟へのスムーズな移行が可能となり、退院後も通院リハビリを行える、継続したリハビリのできる体制を整えました。

次に産科病棟は、岡山中央病院で現在提供している産科医療をより上質に提供するために、新棟に病棟を移しました。出産という特別な時間を特別な場所で過ごしていただけるように、広くて明るい病室、専用のレストランと中庭を用

意し、母子はもちろんご家族にもゆったりとした時間を過ごしていただけるように設計しております。

そして、透析フロアです。透析という長時間過ごす空間は、既に生活の一部であるにもかかわらず、安全上の理由から、患者さんのプライバシーが犠牲になっていました。今回の透析フロアは半個室とすることで、それぞれの透析患者さんが、安全を担保しつつ、落ち着いた時間を過ごしていただけるようになります。

新機能と既存施設を含め、地域の医療・関係機関様との連携をより深め、患者さんの満足の創造に向けて邁進して参る所存です。今年も職員一同、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



新棟イメージ図（11月完成予定）

CONTENTS

page 1	新年のご挨拶
page 2・3	泌尿器科 女性骨盤底疾患診療のご紹介
page 4	INFORMATION 医療従事者向け 勉強会のご案内 無痛MRI乳がん検診のご案内



泌尿器科 女性骨盤底疾患診療のご紹介



泌尿器科 医師
小林 知子

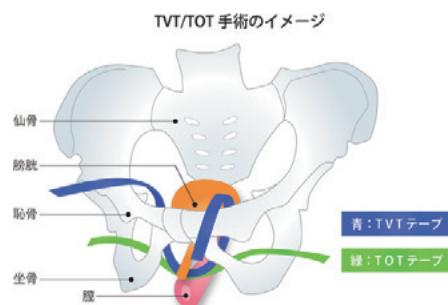
岡山中央病院泌尿器科では、女性医師により女性泌尿器科専門診療を行っています。骨盤臓器脱や尿失禁は、多くの女性が悩みながらも年だから仕方ないとあきらめたり、羞恥心から誰にも相談できずにいることが多い疾患ですが、実際に当院で手術をされた方からは、「快適な生活を送れるようになった」「もっと早く受診すれば良かった」との声を多くいただいております。今回は、女性骨盤底疾患の診療と手術方法についてご紹介致します。

【女性尿失禁】

女性尿失禁には、主に腹圧性尿失禁と切迫性尿失禁がありますが、多くの患者さんではこれらが両者ともみられ、混合性尿失禁と呼ばれます。腹圧性尿失禁に対しては理学療法および手術療法が有効で、切迫性尿失禁に対しては生活指導と内服療法が有効です。このように、アプローチの異なる病態が混在するのが常であるため、患者さんの尿失禁の状態を見極めて、治療法を組み合わせることで最適化するのが、女性尿失禁治療の難しく興味深いところでもあります。

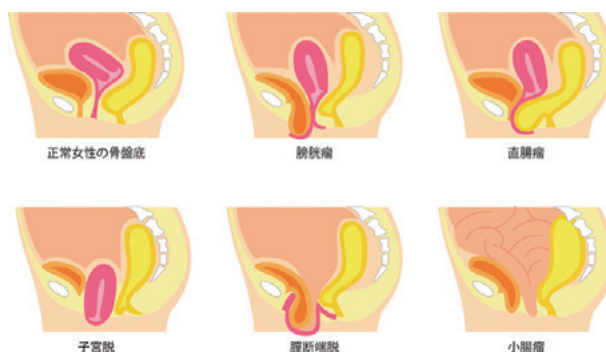
尿失禁手術TVT・TOT:腹圧性尿失禁に対する治療として行われます。経膈的に尿道の下にメッシュのテープを挿入し、特殊なニードルを用いて、TVTの場合は恥骨上へ、TOTの場合は閉鎖孔を経由して大腿内側へテープの両端を引き出します。メッシュは挿入時点では組織との摩擦で固定されているのですが、徐々にメッシュ周囲に線維化が起こり、約3か月で尿道がメッ

シュを芯とする組織によってハンモック状にしっかりと支えられます。腰椎麻酔下に行う20分程度の手術で、入院も2～3日ですみ、腹圧性尿失禁に関しては90%以上の高い術後尿禁制率が得られますので、患者さんの満足度は高いです。手術適応を正しく判断すること、術後の生活指導(メッシュが固定されるまでは強い腹圧をかけないこと)が重要です。



【女性骨盤臓器脱】

女性の膣管は非常に柔軟な臓器で、性交や分娩において重要な役割を果たしますが、その柔軟性ゆえに、また分娩時の負荷によって、様々なかたちで損傷を受けます。加齢に伴って骨盤底の組織が脆弱化し、そこに肥満や慢性の便秘などによる腹圧が加わると、膣管のあらゆる部分が下垂し、内臓ヘルニアが起こります。前膣壁であれば膀胱瘤、子宮膣部が出てくると子宮脱、後膣円蓋であれば小腸瘤、遠位後膣壁であれば直腸瘤といった具合です。



「腔から何かが出てくる」という違和感が主症状で、腔壁と一緒に脱出している臓器によって排尿障害や尿失禁、出血、排便障害などの随伴症状が見られます。

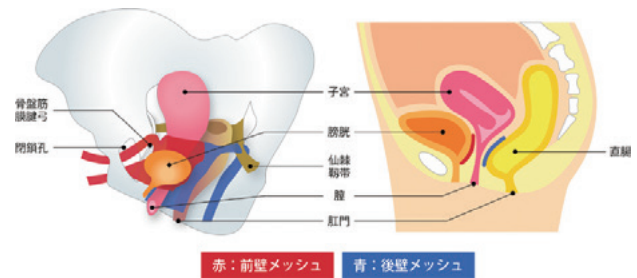
程度が軽ければ生活指導や骨盤底筋トレーニング、ペッサリー装着などで保存的に経過を見ますが、常時脱出していたり前記のような症状を伴ったりする場合は、積極的に手術治療が検討されます。



腔壁形成術 colporrhaphy：腔を縫い狭めて形成する手術で、子宮がある場合は同時に経腔的に摘出することが多いです。性交渉のない女性で、肥満度が低く活動量が多くない方に適しています。腔壁の下垂が軽度で、子宮を先頭に脱出しているタイプの骨盤臓器

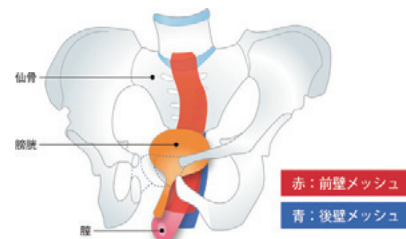
脱には、特に良い選択肢です。人工メッシュの使用がリスクとなるような、糖尿病の患者さんや低エストロゲン状態の患者さん（乳がんの術後など）でも行うことができます。手術時間は2時間程度で、術後1週間で退院できます。

経腔メッシュ手術 TVM：腔壁を剥離してメッシュをインプラントし、腔壁を面でサポートする手術です。メッシュの端に2～4本の脚があり、この脚を骨盤筋膜腱弓や仙棘靭帯に貫通させます。メッシュ脚はTVTと同様、最初は摩擦抵抗のみで止まっていますが、徐々に組織と一体化してしっかりと固定されます。子宮は摘出せず、むしろメッシュのアンカーとして利用するため、子宮の下垂は軽度で、主に腔壁が下垂している患者さん（実は骨盤臓器脱ではこのタイプが最も多いのです）に適しています。子宮摘出後の腔脱にも条件が整えば施行することができます。手術時間は1時間程度



ですみ、術後1週間で退院となります。TVTと同じく、術後の生活指導（メッシュが固定されるまでは強い腹圧をかけないこと）が重要です。

腹腔鏡下仙骨腔固定術 LSC：比較的新しい術式ですが、開腹で行う仙骨腔固定術は、長年骨盤臓器脱手術のゴールドスタンダードでした。子宮がある場合は体部（と付属器）のみを切除して子宮頸管に、子宮がない場合は腔断端のカフに、それぞれ帯状のメッシュを縫着して、そのメッシュの対側端を岬角前面の前縦靭帯に固定することで膈円蓋を挙上します。腔壁下垂がある場合は、膀胱腔間隙、直腸腔間隙も剥離してメッシュを挿入することで、面のサポートも可能ですので、ほとんどのタイプの骨盤臓器脱に対応することが可能です。腔長が保たれ腔口も狭くならないため、性生活がある女性には第一選択となります。また、全ての固定は運針で行うため、メッシュがずれる心配がほ



とんどなく、退院後からほぼ入院前と同じように活動できるようになります。比較的若く、アクティブで、生活強度のある患者さんに向いています。手術時間は3～4時間と長めですが、創の痛みが少なく回復もスムーズで、術後1週間で退院となります。

INFORMATION

EVENT

医療従事者向け 勉強会のご案内

お問い合わせ先 地域医療連携室まで

●2月13日(木) 19時～20時

岡山中央病院セミナー室にて

※生涯教育講座1単位

「心不全ケア」

講師：岡山中央病院 慢性心不全看護認定看護師

生本 博子

●2月27日(木) 19時～20時

岡山中央病院セミナー室にて

※生涯教育講座1単位

「緩和ケアと 緩和ケア病棟について(仮)」

講師：岡山中央奉還町病院 緩和ケア病棟 看護師

小川 真知子

●3月12日(木) 19時～20時

岡山中央病院セミナー室にて

※生涯教育講座1単位

「透析患者さんから学ぶ 逆転のCKD人生」

講師：岡山中央奉還町病院 腎臓内科医 森岡 茂



TOPICS

無痛MRI 乳がん検診のご案内

当院では2019年8月より3.0テスラMRIを用いた乳がん検診(DWIBS法)を実施しています。

検査の特徴

- ・乳房を挟まないで、痛みはありません
- ・Tシャツを着たまま検査ができるので、見られることも触られることもありません
- ・放射線を使わないので被曝もありません
- ・10分ありの撮影時間で完全予約制です



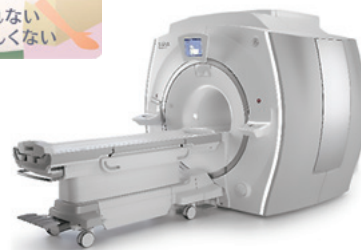
痛くない
見られない
すぐおわる



予約、お問い合わせは
地域連携室まで ご連絡ください。

TEL 086-252-5002

検査費用(自費) 19,580円(税込)



社会医療法人 鴻仁会

岡山中央病院
地域連携室

岡山中央奉還町病院
セントラル・クリニック伊島

<http://www.kohjin.ne.jp/>

<https://www.kohjin.ne.jp/okayama-gan/> (がんセンター専用ページ)

〒700-0017 岡山市北区伊島北町6-3 TEL.086-252-3221(代表)
TEL.086-252-5002 FAX.086-252-3929

〒700-0026 岡山市北区奉還町2丁目18-19 TEL.086-251-2222

〒700-0017 岡山市北区伊島北町7-5 TEL.086-214-5678

